

新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.43



『東遊草』—往復千六百キロの大旅行—
 よく知られているように、三浦梅園はほとんどよその土地に出ることなく郷里国東の富永で過ごしました。しかし、生涯で三度、長途の旅をしました。その中の一つが、二十八歳の時の伊勢参宮の旅でした。二月十一日に富永を出発し、三月二十三日に今在家の港（現在の国東港）に到着した、四十二日間、距離にして約四百里（1,600km）の大旅行でした。

二月十一日 富永より高田まで 五里
 この日天晴れ風朗なり。貞右衛門といへる男をともしなひて、うかれぬぬ。…

梅園はこのときの旅の様子を『東遊草』という書物に記録しています。『東遊草』には、伊勢参宮の感激の様子ばかりでなく、途中の宿場の様子、各地の名所旧跡のこと、道連れの人々との交流など実に興味深い出来事が描き出されていて、紀行文学作品としても立派に通用する作品になっています。

この大旅行を終えた梅園は、やがて、堰を切ったように「天地を貫徹する条理」の世界を切り拓いていくことになるのです。

三浦梅園

その足跡と思想（その3）

『東遊草』—往復千六百キロの大旅行—

（この日は晴天で風も心地よく、貞右衛門という男を道連れに、心もウキウキ出発した。）

豊後高田、中津、小倉、下関、そして「山陽道」の宿場宿場を経て、大阪、奈良をめぐり、伊勢神宮へ。帰りは伊勢から琵琶湖、京都をめぐり大阪に出ています。大阪からは船旅で、途中四国の金比羅宮に詣り、国東に帰っています。



※三浦梅園の伊勢旅行記『東遊草』は、三浦梅園資料館で一般に展示しています。
 問い合わせ 三浦梅園資料館 ☎0978-64-6311

国東高校で「演劇ワークショップ」(体験型講座)

ミュージカル「火の鳥」のスタッフが、9月18日(金)、国東高校を訪れ、演劇の楽しさを体験してもらおうと「演劇ワークショップ」を行いました。演出家の指導を受けた生徒の代表が「火の鳥」の一場面を演じた後、観る側、演じる側に分かれて意見交換を行いました。

劇団わらび座ミュージカル 火の鳥～鳳凰編～

日時 11月7日(土) 午後2時～
 場所 アストくにさき
 料金 一般 2,000円
 高校生以下 1,000円
 (ともに当日500円増し)

問い合わせ 生涯学習課 ☎0978-72-2121